

ニッポングループ「経営理念」、「経営方針」に関するお知らせ

株式会社ニッポン(代表取締役社長:前鶴俊哉 本店:東京都千代田区)は、「経営理念」、「経営方針」を新たに策定し、合わせて将来に向けた長期ビジョンを策定いたしましたので、概要について下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 経営理念・経営方針・長期ビジョンの骨格

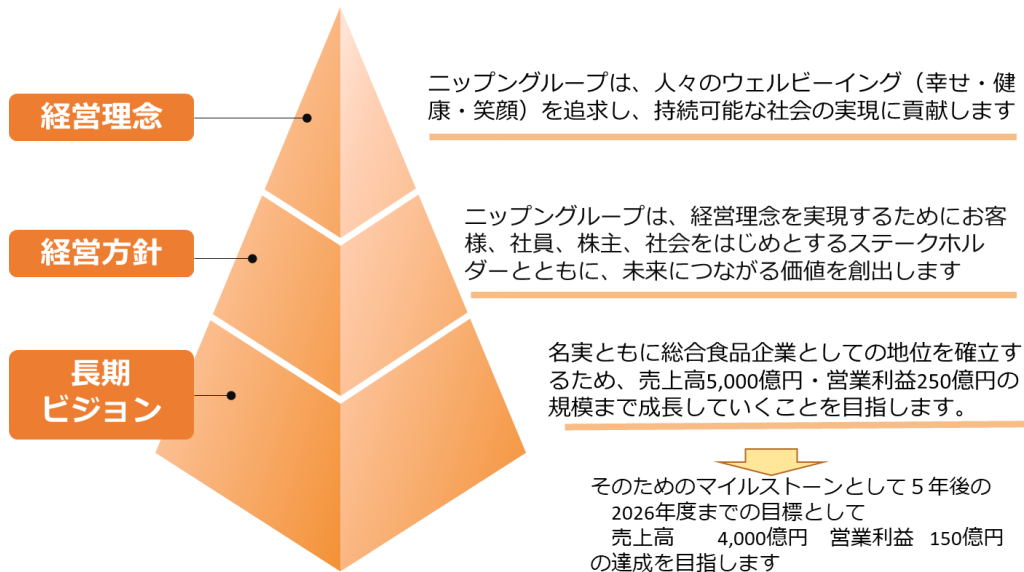
(1) 策定の背景

当社グループは2021年に創立125年を迎え、社名を「株式会社ニッポン」へと変更いたしました。創立以来の製粉事業に食品事業を加えて基盤事業とし、冷凍食品や中食など事業の多角化を進めてまいりましたが、今後はヘルスケアや大豆・野菜事業などへも注力し、さらに新規事業も加えて事業領域を拡張し持続的成長を図ってまいります。

この新しい「ニッポングループ」のスタートにあわせて、このたび新経営理念

人々のウェルビーイング（幸せ・健康・笑顔）を追求し、持続可能な社会の実現に貢献します

を定めました。



当社を取り巻く環境は目まぐるしく変化しておりますが、創業以来の技術と新しいデジタルトランスフォーメーション(DX)の融合を図り、イノベーションを起こすことで、変化を先取りした新しい時代の「食」を創造していきたいと考えております。

さまざまな場面で当社製品が愛用され、世の中のすべての人々に幸せ、笑顔、そして心身の健康をお届けする企業を目指します。

社内においては、社員一人ひとりが創業以来のパイオニア精神を忘れず、創造性・多様性を育み、何事にも積極的に取り組めるような職場環境を構築し、新たな事業領域にチャレンジしてまいります。

このような企業活動を通じて、気候変動などの環境問題、食資源の有効活用(生物多様性の保全)、人口問題、健康寿命の延伸などの社会的課題に対して真摯に向き合い、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

(2) 経営方針

経営理念に基づき、以下の経営方針を策定いたしました。

ニッポングループは、人々のウェルビーイング(幸せ・健康・笑顔)を追求し、持続可能な社会の実現に貢献するために、ステークホルダーとともに、未来につながる価値を創出します。

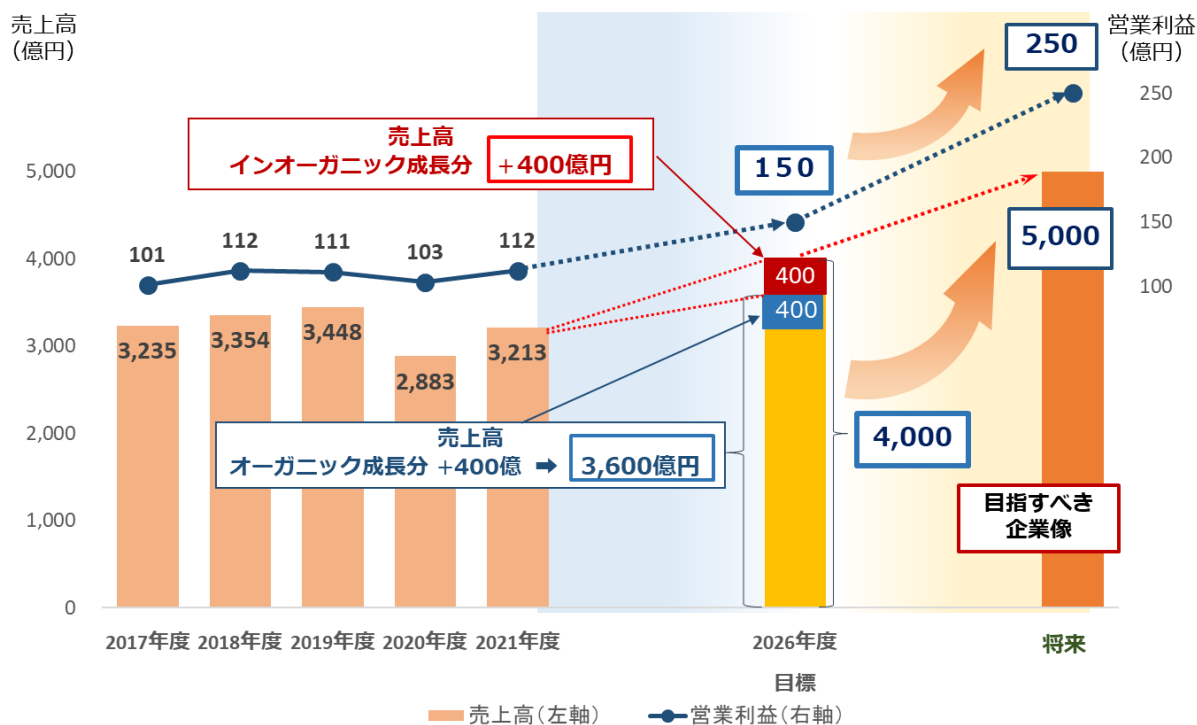
お客様とともに	すべての人々に「食」を通じて健康と笑顔を提供します。創業以来の技術力とDXを駆使し、変化を先取りした商品・サービスを開発することで新しい時代の「食」を創造します
社員とともに	フェアでオープンな企業文化のもと、熱意と愛情を持って社会課題の解決に取り組みます
株主とともに	透明性の高い情報開示と株主との対話を通じて、企業価値の向上に取り組みます
社会とともに	ESG経営を実践するレジリエント企業として、日本と世界の現実に目を向け、国内外のパートナーとともに「より良い社会」「より良い地球」の実現に力を注ぎます

2. 長期ビジョンについて

(1) ニッポングループが目指す成長のイメージ

名実ともに総合食品企業としての地位を確立するため、売上高 5,000 億円・営業利益 250 億円の規模まで成長する事を目指します。

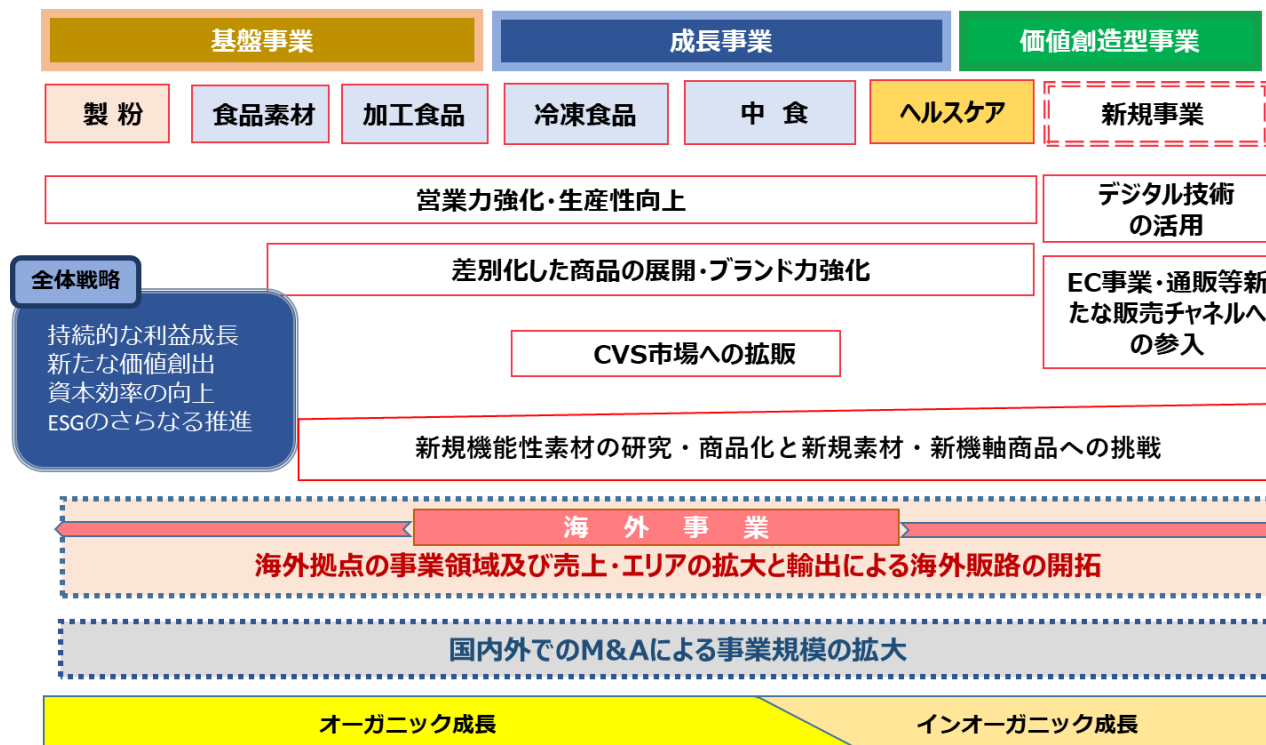
そのためのマイルストーンとして収益基盤を強化しながらオーガニック成長で売上を積み上げるとともに、インオーガニックで成長の底上げを進め、5年後の2026年までに売上高 4,000 億円・営業利益 150 億円の達成を目標とします。



※2020年度は、会計方針の変更に伴い遡及適用が行われたため、遡及適用後の数値を記載

(2) 長期ビジョンの戦略概要

既存事業の基盤強化や生産能力増強並びに多様なライフスタイルに対応し、当社グループの強みを活かしながら成長分野への積極的な経営資源の投下を今後も継続していくことによって、グローバルな事業の拡大・新たな事業創出を行い、成長を実現させていきます。



3. 財務戦略

(1) 基本方針

当社グループは以下の基本方針を基に持続的成長をするための財務体質の強化とキャッシュの最適配分を実施します。

- ① 持続的成長による収益力拡大から創出されたキャッシュを最適配分します
- ② バランスシートの効率化推進により資本効率の向上並びに財務体質の強化を図ります
- ③ 安定的な配当を継続するとともに機動的な自己株式の取得も実施します

将来に向けた目標とする指標

売上高 5,000億円 営業利益 250億円

そのマイルストーンとして

2026年度までの目標とする指標 (2027年3月期)

売上高 4,000億円 営業利益 150億円

配当性向は30%以上とします